



# 重要

## HP UEFI要件

HP ProLiant Gen9サーバーは、UEFIブートモード（デフォルト）およびレガシBIOSブートモードの両方をサポートします。これは、HP UEFIシステムユーティリティのブートモード設定で構成されています。サーバーがUEFIブートモード用に構成されている場合は、次の要件に従ってください。

- Microsoft Windows 2008 R2をUEFIブートモードで使用する場合は、UEFI最適化ブートが無効になっている（このオプションはデフォルトで有効になっている）必要があります。
- UEFIブートモードでVMware ESXを起動する場合、UEFI最適化ブートが有効になっている必要があります。
- サポートされるサーバーオプションのリストにあるHP Smartアレイコントローラーのみを使用する必要があります。他のHP Smartアレイコントローラーはサポートされておらず、このサーバーでは正しく機能しません。サーバーで使用する前に、HP Smartアレイコントローラーのファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします。オペレーティングシステムをインストールする前に、最新のHP Service Pack for ProLiantをオフラインモードで使用して、ファームウェアを最新バージョンにアップグレードします。

サポートされるオプションについては詳しくは、HPのWebサイト（<http://www.hp.com/go/qs>（英語））にあるサーバーのQuickSpecsを参照してください。

最新のファームウェアおよびドライバーのバージョンについては詳しくは、HPのwebサイト（<http://www.hp.com/go/hpsc>）を参照してください。



---

**重要:**最新のファームウェアを使用して更新された、サポートされるHP Smartアレイコントローラーのみをインストールしてください。正しいファームウェアを使用しなかった場合、サポートされるコントローラーはシステム構成内で不明なデバイスとして表示されます。

---

- サポートされるサーバーオプションのリストにあるネットワークングデバイスのみを使用する必要があります。サポートされていないネットワークングデバイスは、このサーバーでは正しく機能しない場合があります。サーバーで使用する前に、ネットワークングデバイスのファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします。オペレーティングシステムをインストールする前に、最新のHP Service Pack for ProLiantをオフラインモードで使用して、ファームウェアを最新バージョンにアップグレードします。



---

**重要:**最新のファームウェアを使用して更新された、サポートされるネットワークングデバイスのみをインストールしてください。正しいファームウェアを使用しなかった場合、サポートされるネットワークングデバイスはシステム構成内で不明なデバイスとして表示されます。

---

- サーバーがUEFIブートモード用に構成されている場合、PXEサーバーはUEFIブートイメージで構成される必要があります。x64 EFIマシンの場合、DHCPサーバーもx64 EFI DHCPブート要求をサポートするように構成される必要があります。詳しくは、UEFI Information Library (<http://www.hp.com/go/ProLiantUEFI/docs>) を参照してください。
- サーバーがUEFIブートモードで起動するとき、レガシOSインストールによるメディアは起動されません。これには、DOSターゲットおよびレガシBIOSブートモードでインストールされているWindowsまたはLinuxシステムが含まれます。また、レガシBIOSブートモードで起動するサーバーにはその逆が当てはまります。
- HP Dynamic SmartアレイB140iサポートは、UEFIブートモードでのみ利用できます。レガシBIOSブートモードでは有効にできません。
- デフォルトのブートモード設定とユーザーが構成した設定が異なる場合は、デフォルト設定に復元すると、システムがOSインストールを起動しなくなる可能性があります。この問題を避けるために、システムユーティリティでユーザー定義のデフォルト設定を作成して保存し、システムのデフォルト設定を変更します。詳しくは、UEFI Information Library (<http://www.hp.com/go/ProLiantUEFI/docs>) を参照してください。
- セキュアブートでは、適切なデジタル署名があり、認証が確認されたファームウェアコンポーネント、UEFIアプリケーション、およびオペレーティングシステムのブートローダーのみが、ブートプロセス中に実行できます。ブートプロセス中に起動される各コンポーネントがデジタル署名され、その署名はUEFI BIOSに組み込まれた信頼できる証明書と照合して検証されます。セキュアブートを機能させる場合、Trust ed Platform Moduleなどの特別なハードウェアは不要です。セキュアブートはUEFIブートモードでのみ有効にできます。詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/ProLiantUEFI/docs>) にある『HP ProLiant Gen9サーバー用HP UEFIシステムユーティリティユーザーガイド』を参照してください。

UEFI BIOSブートモードとレガシBIOSブートモードでブートモードを変更する方法について詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/ProLiantUEFI/docs>) にある『HP ProLiant Gen9サーバー用HP UEFIシステムユーティリティユーザーガイド』を参照してください。

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 : 794192-191

2014年9月

版数 : 1